

令和4年度第4回「弥富市地域公共交通活性化協議会」 議事録

日時：令和5年3月22日（水）

午前10時から

場所：弥富市役所本庁舎3階大会議室

○議 事

1.開会

<p>事務局 (藤井課長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定刻となった。ただいまから、令和4年度第4回弥富市地域公共交通活性化協議会を開催する。</li> <li>・ 本日の協議会は委員定数21名のうち、17名の出席をいただいております。協議会規約第9条第1項に定める半数以上の定数に達しているため、会議が成立していることを報告する。</li> <li>・ また、当協議会は協議会規約第9条第3項により、会議を公開とする。</li> <li>・ 本日はオブザーバーとして、アイシンさん、あんしんネット21さんにもご参加いただいております。</li> </ul>
-----------------------	--

2.あいさつ

<p>事務局 (藤井課長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最初に、安藤市長よりご挨拶申し上げます。</li> </ul>
<p>安藤市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本日は早朝より第4回目となる弥富市地域公共交通活性化協議会にご出席いただき感謝申し上げます。また、平素は弥富市の公共交通行政並びに市政運営に対し、それぞれのお立場でご支援、ご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。</li> <li>・ 今日はいろいろとご協議いただかなければならない。第3次となった南部地域の社会実験運行、デマンド型乗合送迎サービスの運行計画と、物価高騰の中であるが、きんちゃんバスに乗っていただく高校生の運賃を見直していくことについてご提案させていただきたいと思っている。また令和5年度の計画についてご審議賜りたい。</li> <li>・ コロナも3月13日にはマスクの取り扱いが個々の判断となったが、市においては市民の安全、会議の皆様方の感染防止対策という意味で2類の間はマスクをすることにさせていただいております。ご理解賜りたい。</li> <li>・ 5月8日には2類から5類へと感染法上の分類が引き下げられてくる。いよいよこれまで皆様方をお願いしていた新しい生活様式、また社会経済活動でのさまざまな制約がコロナ禍前に変わっていくと思っている。皆様方のますますのご活躍、それぞれの事業所のご繁栄を祈念申し上げます。冒頭の挨拶とさせていただきます。本日もよろしくお願ひする。</li> </ul>

3.資料確認

<p>事務局 (藤井課長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本日の会議資料の確認を事務局より願ひする。</li> </ul>
<p>事務局 (富居)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議資料の確認をする。</li> <li>・ 事前に送った資料として、</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1：チョイソコやとみ運行計画（案）</li> <li>・資料2：コミュニティバス運賃助成定期券交付事業について</li> <li>・資料3：令和5年度弥富市地域公共交通活性化協議会 事業計画（案）</li> <li>・資料4：令和5年度弥富市地域公共交通活性化協議会 予算（案）</li> <li>・参考資料1：弥富市地域公共交通活性化協議会規約（R5.4.1改正）</li> <li>・参考資料2：利用者実態調査結果</li> <li>・本日席上に配布した資料として、</li> <li>・配席図</li> <li>・資料1（当日差替え版）：チョイソコやとみ運行計画（案）</li> <li>・参考資料3：令和4年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について</li> <li>・チョイソコやとみパンフレット</li> <li>・第3期社会実験運行に関する意見・質問取りまとめ がある。</li> <li>・不足はないだろうか。</li> </ul>
事務局 （藤井課長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以降の議事を山崎先生にお願いする。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日は、重要な案件がある。ご審議いただきたい。</li> <li>・だいぶ暖かくなってきた。バス、公共交通を使って高齢者がまちに出ていくような、買い物に行くだけでなく、不要不急の外出をしていただけるような環境づくりを目指して弥富の地域公共交通をよくしていきたいと思っている。よろしくお願いします。</li> </ul>

#### 4.議題

##### (1) 第3期南部地域社会実験運行について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日は3つの議題がある。審議事項が2つ、報告事項が1つある。</li> <li>・まずは第3期南部地域社会実験運行についてということで、南部地域の実験は今まで第1期、第2期とやってきた。3期目、いろいろなパターンで実験を繰り返し、最終的にどうしていくか決めていく。重要な実験になる。</li> <li>・事務局から説明をお願いします。</li> </ul>
事務局 （富居）	<p>○資料1（当日差し替え版）説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3期南部地域社会実験運行について、資料1、当日差し替え版、チョイソコやとみ運行計画（案）を基にご説明する。</li> <li>・1. 運行の目的について。現在、通学・通勤・通院・買物など市民生活のための移動手段の確保、公共交通空白地域の解消を目的としてきんちゃんバスが運行している。しかし、利用者の8割は高齢者であり、住まいがバス停まで遠い高齢者の買い物、通院、公共施設利用等の需要に対応する必要性が高くなっている。また、コロナウイルス感染症拡大による生活行動の変化によってきんちゃんバス利用者は減少傾向であり、外出自体を控える方が増加傾向にある。</li> <li>・これらの課題を解消するため、需要に応じて運行するデマンド交通の導</li> </ul>

	<p>入を検討しているが、これまでと全く利用方法の異なる公共交通を導入しても利用を敬遠されてしまう懸念がある。そのため、デマンド運行を知っていただき、利用体験を通じて、地域の方々に評価していただく機会として社会実験運行を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2. 運行期間について。運行期間は令和5年6月2日（金）から11月28日（火）までの6か月とする。実証運行終了後の運行については、適切な実証運行の評価を行い、協議会にて本格運行の実施について協議する。</li> <li>・ 3. 運行区域・停留所について。運行区域は、栄南・大藤学区全域及び次ページ以降の停留所マップに示す、弥富市内の大藤・栄南学区以外及び飛島村、木曾岬町の一部の登録されている店舗や病院等に設置する目的地停留所とし、停留所間を送迎する。ただし、大藤・栄南学区以外に設置した目的地停留所間の移動は不可とする。なお停留所マップについては、今後修正を行う可能性がある。</li> <li>・ また、停留所を飛島村と木曾岬町の一部に設置することについては、飛島村と木曾岬町の担当課へは説明しており、飛島村の3月29日開催の協議会においてもご説明させていただく。</li> <li>・ 公安委員会についても、停留所位置と写真を1シートにした資料をお渡ししご確認いただいている。</li> <li>・ 4. 事業主体について。事業主体は、弥富市とする。また、実施体制としては、事業主体が弥富市、サービス提供者が株式会社アイシン、運行事業者は、先日公募型プロポーザルを実施した結果、株式会社あんしんネット21が運行事業者となり、三者にて協定を結び事業を実施していく。</li> <li>・ 運行事業者は道路運送法第21条第2項に基づき、乗合旅客運送を行う。</li> <li>・ 5. 利用対象・会員条件について。基本的に利用者の制限はないが、以下に示す条件を満たす方を利用対象・会員条件とし、利用するためには会員登録が必要である。</li> <li>・ 以下に示す条件としては、弥富市指定地域（栄南・大藤学区）に在住・在勤・在学もしくは定期的に訪問する方、自分でまたは保護者もしくは介助者の補助によりチョイソコセンターへの連絡ができる方、自分でまたは保護者もしくは介助者の補助により停留所への移動及び車両への乗降ができる方。ただし、介助者の同行により乗降できる場合は利用可とする。車いすでの利用は不可となる。</li> <li>・ 小学生以上の方とは、会員登録時点で小学生以上の者をいい、小学生以下の者は保護者の同意のもと会員登録を行う。</li> <li>・ 小学生の利用は保護者が利用予約を行うことを基本とする。</li> <li>・ 市は、必要に応じて住民情報等をもとに会員条件の確認を行う。</li> <li>・ 6. 運行日時について。運行日時は以下に示すとおり、祝日を含む火曜日及び金曜日の9:00～16:00。ただし、事業主体が別に定めた日やその他、天候条件や災害など安全な運行に支障がある日を除く。</li> <li>・ 7. 移動ルールについて。停留所間の移動のみを可能とし、栄南・大藤学区以外に設置した目的地停留所間の移動は不可とする。こちらは乗車</li> </ul>
--	---

	<p>地か降車地のどちらか、または両方が大藤・栄南学区内にある必要があるということです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8. 運賃、割引制度について。運賃は一般を 400 円、小学生から高校生を 200 円、障がい者を 200 円、未就学児を無料とする。</li> <li>・ また、割引制度として同乗者の運賃を通常運賃の半額とする同乗者割引を適用する。</li> <li>・ 割引制度では障がい者の同伴者は一般料金とし、障がい者と同乗する場合、同乗者割引を適用する。</li> <li>・ 次のページに割引制度適用後の金額と割引例を示している。例えば大人が予約し、大人と同乗者が 1 名いる場合、400 円＋大人の割引料金である 200 円で、合計金額は 600 円となる。</li> <li>・ ただし、割引条件として、予約者と同乗者は同じ停留所で乗車及び下車をしなければならず、乗車時に同乗者がいる旨をドライバーに伝えなければならないとする。運賃については、現金と交通系 IC での対応を予定している。</li> <li>・ 9. 運行車両について。運行車両は本運行車両 1 台とし、定員は 8 名である。</li> <li>・ 10. 乗車受付について。利用は電話、インターネットでの予約によるものとし、予約内容以外での乗降は不可とする。また、利用希望日の 2 週間前から利用希望日時の 30 分前まで受付を行う。</li> <li>・ 電話は事業者が定めた運休日を除く祝日を含む火曜日及び金曜日の 8:30～16:00 を予約受付時間とし、インターネット予約は 24 時間受付対応する。</li> <li>・ 11. 停留所設置・廃止のルールについて。停留所の設置を行う場合は、事業主体が承認したもののみ設置できるものとし、毎月月末までに手続きが完了した停留所については、翌々月 1 日より設置できるものとする。</li> <li>・ なお、停留所の設置を行った場合は、直近の協議会で報告するものとする。</li> <li>・ 停留所の廃止については、原則、実証実験中の停留所の廃止はできないものとし、実証実験後に具体的な廃止のルール等を検討する。</li> <li>・ 現時点では、設置手続きと同様に事業主体が承認したもののみ廃止できるものとし、停留所の廃止を行った場合は、直近の協議会で報告するものとする予定である。</li> <li>・ 12. チョイソコ通信について。事業主体は、原則 1 ヶ月に 1 回程度、会員に対する広報誌「チョイソコ通信」を送付するものとする。記載内容は、停留所の設置及び廃止、イベント情報等、その他事業主体が必要と判断するものとする。</li> <li>・ 13. 第 3 期社会実験運行の評価・検証について。第 3 期社会実験運行では社会実験運行目標と検証項目をもとに適切な評価と検証を行う。</li> <li>・ 社会実験運行目標とは、本格運行するか否かを確認するための指標のことで、「既存南部ルート＋第 3 期社会実験運行の利用者数が、実験前の既存南部ルート利用者数よりも増加しているかどうか」を社会実験運行</li> </ul>
--	--

	<p>目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検証項目は以下の表に示すとおりである。</li> <li>・ 検証項目は大きく分けて5つあり、チョイソコやとみの利用状況、利用者ニーズの把握、チョイソコやとみの認知度及びチョイソコやとみの利用に関わる現状、きんちゃんバスからチョイソコやとみへの転換の可能性、チョイソコやとみ協賛金への関心度である。</li> <li>・ チョイソコやとみの利用状況は、株式会社アイシンが集計している利用者データをもとに、1日当たりの利用者数が15人、実験期間内の会員登録数が500人、乗合率が1.5～2.0という具体的な数字で検証する。</li> <li>・ 利用者ニーズの把握は、チョイソコやとみ会員登録者へのアンケート調査を行い、利用満足度、利用頻度、利用した理由や利用をやめた理由、行き又は帰りの移動手段、以前の主な交通手段などから把握する。利用満足度については、7～8割という具体的な数値を設定し検証する。なお、チョイソコやとみ会員登録者へのアンケート調査は、チョイソコ通信にアンケート票を同封することによって実施する。</li> <li>・ チョイソコやとみの認知度及びチョイソコやとみの利用に関わる現状については、チョイソコやとみの認知度、自家用車依存度、タクシー料金助成制度の利用頻度の増減、免許返納状況などから把握・検証する。これらの項目は令和5年度に実施予定の栄南・大藤学区から無作為抽出した市民を対象とするアンケート調査により把握する。</li> <li>・ きんちゃんバスからチョイソコやとみへの転換の可能性については、きんちゃんバスの利用頻度、きんちゃんバスを利用しないときの主な移動手段、チョイソコやとみを利用しているか、チョイソコやとみを今後利用する可能性はあるかなどから把握・検証する。これらの項目は令和5年度実施予定のきんちゃんバス利用者へのアンケート調査より把握する。</li> <li>・ チョイソコやとみ協賛金への関心度については、協賛金への関心度・意向に関する地域の企業や目的地停留所設置施設へのアンケート調査によって把握・検証する。なお、チョイソコやとみ会員登録者へのアンケート調査と同様にチョイソコ通信にアンケート票を同封することによって実施する。</li> <li>・ 14. スケジュールについて。事業主体は、実証運行開始から3ヶ月ごとに検証を行い、検証結果を基に必要に応じて運行計画の変更案を作成するものとする。また、検証結果及び運行計画の変更案は、交通会議において報告又は協議するものとする。</li> <li>・ 第3期南部地域社会実験運行については以上である。ご審議をよろしくお願いする。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご意見、ご質問があればお願いします。</li> </ul>
鈴木委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回、運行事業者としてあんしんネット21さんに決定したということであるが、あんしんネット21さんに最終的に決定した決め手を教えていただきたい。</li> <li>・ あんしんネット21さんがどんな会社なのか紹介いただきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロポーザルについては選考委員を定め、座長の山崎先生をはじめとしたメンバーで選考した。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公募があった事業者は2社であった。近鉄タクシー様とあんしんネット21様が応募された。その2社によるプロポーザルを開催した。</li> <li>・様々な評価項目を点数化し、優劣をつけた結果、あんしんネット21さんに決まった。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補足する。私も委員として参加した。客観的に5人の委員が点数をつけ、集計した。特に操作はしていない。</li> <li>・あんしんネット21さんに一言挨拶をお願いする。</li> </ul>
五藤氏 (あんしんネット21)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あんしんネット21、課長の五藤芳章である。</li> <li>・弊社はタクシー事業を中心に行っている。介護タクシーもやっている。そのほか、送迎など、タクシー以外の事業にも携わっている。弱者の方、交通の手助けをする方に対しては積極的にタクシー以外も行っている。</li> <li>・あんしんネット21は、本社営業所、介護中心の守山営業所、中川営業所と3営業所で事業を行っている。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般乗用のタクシーをやっているつばめ交通のグループ会社で、介護タクシーが主な業務の会社である。</li> <li>・ほかにいかがか。</li> </ul>
多田委員 (名古屋タクシー協会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あんしんネット21さんとしての乗合事業の運行実績はあるのか。私が知っている限りでは、ほかのグループ会社ではおやりになっているが、あんしんネット21さんとしての実績は、新規なのか、既存のどこかの路線でやっているのか。</li> <li>・今回は中川の営業所から配車されるのか。</li> </ul>
五藤氏 (あんしんネット21)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本社の中村からである。</li> </ul>
多田委員 (名古屋タクシー協会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中村本社からの距離と時間を教えてほしい。</li> </ul>
五藤氏 (あんしんネット21)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の乗合事業に関して、あんしんネット21では新規の取り組みである。</li> <li>・営業所は本社営業所で、中村区畑江通という住所である。距離にして弥富市役所で19km、時間にして35分～40分の時間を試算している。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほかにいかがか。</li> </ul>
伊藤委員 (民生・児童委員協議会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用対象、会員状況のところだが、利用者の制限なし（会員登録が必要）とあるが、この会員登録を具体的に知りたい。利用される方が高齢者になるので、簡単なのか、複雑なのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員登録については、本日お手元にお配りしているパンフレットにチョイソコの会員登録申込書が入っている。こちらに記載いただく形になる。この記載の説明については各地区で説明会を開催し、ご利用予定者に参加いただき、書き方の説明をさせていただいている。</li> </ul>
伊藤委員 (民生・児童委員協議会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これで登録されて、登録証が出るのか。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙で申し込みいただくと、目安ではゴールデンウィーク明けぐらいに利用会員登録証がお手元に届く形になる。最終の停留所マップも一緒に届く。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほかにいかがか。</li> </ul>
多田委員 (名古屋タクシー協会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>確認だが、利用ルールについて、大藤・栄南学区内の乗り降りは自由ということによいのか。この2つの地域内は、一般の方が利用する住宅地バス停との間や、事業者バス停、公共バス停3つあるが、この2つの地区内はどれでも移動が可能なのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>おっしゃるとおりである。大藤学区、栄南学区内の住宅地停留所、目的地停留所については乗り降り自由。それ以外に設定している目的地事業所停留所については事業所間の移動は不可としている。</li> </ul>
多田委員 (名古屋タクシー協会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>P.8、13番の評価・検証について、これは非常に重要な項目だと考えている。以前、何回か現在のきんちゃんバスの利用者数がどのように変移するのかということをお話しさせていただいたことがあるが、ここを見るとそういう項目に該当するものが見受けられない。その辺を教えてください。</li> <li>表に検証方法ということで、きんちゃんバス利用者へのアンケート（令和5年度実施予定）とあるが、このアンケートの中できんちゃんバスの利用頻度を調査するとあるが、令和4年度の実績との関係がここではよく見えない。</li> <li>この実験期間中、きんちゃんバスは運行するのか。運行する前提であるならばこういう書き方ができると思うが、そこがよくわからない。何のためのアンケートなのか。令和4年度の実績数というのは当然数が違うので、その関係はどのように見ているのか。</li> <li>予約をしたが乗れなかったなどの予約不成立がどれぐらいあるのか。これが非常に重要である。今の質問に全部関係してくる話である。最終的にこれは実験なので、予約の不成立がどれぐらいあって、その方々は諦めてくださいというのか、もしくは車を増やす予定があるのか。その辺を検証するのが今回の実験だと理解している。その辺の考え方についてご説明いただきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>輸送実績に関しては毎月三重交通に乗車人員は確認を取っていただいているので、そちらの集計をもとにしてやっている。</li> <li>きんちゃんバスについては実証実験中も変わらずに運行する。時間帯やルートは一切見直さずに現行のルートのみで行う。</li> <li>予約不成立の状況については、アイシンに集計を取っていただき、検証する項目としている。</li> <li>車両の増減、予約不成立の状況によって車両を増やすべきかどうかは協議会に諮り検討したいと考えている。</li> </ul>
多田委員 (名古屋タクシー協会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>最初の質問がよくわからなかったが、令和4年度の実績に対してどれぐらいの利用が見込めるのかということは考えないのかということである。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度のこの実験の実証期間中は今と同じで南部ルートの子んちゃんバスは運行を続けるということである。これは以前から議論になっていたと思うが、きんちゃんバスを利用していた方がどれだけ移ったかということ把握しなければいけない。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年のきんちゃんバスの実績だけでなく、令和4年の数字とも比較しながらやっていく必要はあると思う。そういう評価をしていただきたい。令和4年のデータを見ながら、令和5年できんちゃんバスがどれだけ減ったか。その減った分がチョイソコに移ったのか。さらにそれ以上の人たちがチョイソコも合わせて使ってくれたのか。それが一番よいのだが。</li> <li>・ほかにいかがか。</li> </ul>
永井委員 (弥富市福寿会 連合会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いよいよ社会実験運行の段階に入るが、会員登録について、登録証はゴールデンウィーク明けに渡されるということであるが、ということあまり日にちがない。各地域で行う説明会の予定はどうなっているのか。説明会にはたくさんの人に来ていただくことが大事である。</li> <li>・高齢者の方にはアンケートに答えられないような人もたくさんいる。家族の方が一緒にアンケートに答えるのだろうか、チョイソコ通信はどのように配布するのか、アンケートはどう取っていくのか。郵送なのか。アンケートも量が多かったり、難しいと高齢者は読めない。そういうことも考えていただきたい。</li> <li>・1日当たりの利用者数が15人という話であるが、1週間に2日ということで、南のほうから一番多いのは海南病院のような気がするが、その辺はどのように捉えているのか。</li> <li>・海南病院で飛島のデマンドを見かけた。あれは直接海南病院に来ているようである。1日どのぐらいやっているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明会は既に各地区で開催している。今のところ4月23日(日)まで毎週予定が入っている。昨日も鍋田地区で開催した。40名ほどの方にご参加いただいた。</li> <li>・チョイソコ通信については、郵送で会員のお手元に届く形で考えている。アンケートもチョイソコ通信に同封する。</li> <li>・アンケートについては、高齢者に限らず、若い方も文字が多いとなかなか目を通していただけない。なるべく絞りながらとは思いますが、どうしても検証させていただく項目があるため、ご協力いただくような形で何とか回答率を上げていきたいと考えている。</li> <li>・1日当たりの利用想定人数が15人ということで、説明会でも意見が出ていたのが海南病院を利用される方が多いと聞いている。ただし、運行時間が9時からのため、海南病院を使うにはもう少し早い時間の運行がよいというご意見はいただいた。そういったご意見も踏まえながら本格導入になった段階で運行時間は検討させていただきたいと思っている。</li> <li>・週2日という形になるので、曜日が合わないという方もおられた。利用人数についても15人というのは想定が難しい数字であるが、そういった形でのご利用をお願いしたいということで、各地域で説明会をさせていただいている。</li> </ul>
永井委員 (弥富市福寿会 連合会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛島さんはどのようにやっておられるのか。</li> </ul>
早川委員 (飛島村役場)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛島村は近鉄タクシーに委託して海南病院に直通のタクシーを走らせている。デマンド交通という形で、予約をいただいた方を乗せている。午前中7便で海南病院に運んでいる。</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度の実績では運行回数、予約があった回数は538件、1258人を輸送させていただいている。料金は片道1人500円である。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・500円でもかなりお得だと思う。以前、障がい者の方のワークショップをやったが、普段の生活でタクシーはいくらまで払えるかと聞くと、1000円までということであった。タクシーで通常いくと2000～3000円かかるところを500円で行ければすごくよい。</li> <li>・ほかにいかがか。</li> </ul>
小林委員 (女性の会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チョイソコが始まるまでに名古屋からあんしんネット21が来るということであるが、市内と違い、土地勘を把握しておかないといけない。P.5に停留所がたくさん書いてあるが、246、東末広の方が予約された、次に238番の境の方が予約された、79番の鍋田の方が予約されるとずいぶん遠い。土地勘をじっくり把握しておかないといけない。若い方はナビでできるが、お年寄りのタクシーの方だとなかなか把握できないと思う。まずじっくりと土地勘を頭に入れていただいて運行していただかないと、待っているけれど来ないという苦情がたくさん出ると思う。土地勘を覚えて運行にあたっていただきたい。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイシンさんにシステムを説明していただきたい。</li> </ul>
大屋氏 (アイシン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・200カ所オーバーの停留所を予定している。物理的にドライバーに全部覚えていただくのは無理だと思っている。そこはシステムのほうでカバーしていく。予約が入るとタブレットの車載器で停留所をナビゲーションしていく形になる。必ず目的地まで行くような形になる。</li> <li>・あんしんネット21さんと協力して運行開始前の段階でこの地域を一緒に回り、土地勘を含めて、また我々のほうで1個1個停留所を確認していく。ここは危ないとか、ここは気をつけてほしいということも事前にヒアリングさせていただきながら進めたいと思っている。</li> </ul>
五藤氏 (あんしんネット21)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地勘というところで、タクシーの通常の営業でもなかなか来れない地域であるが、今回この取り組みに当たりナビの操作については一応若い頭の回転のきく、お客様に評価のいいドライバーをあてようと思っている。事前にメンバーを連れてこのエリアの巡回を予定している。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても大事なことである。</li> <li>・ほかにいかがか。</li> </ul>
鈴木委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は火曜日、金曜日の週2日ということで、これは実証実験中増やさない。台数も増やさない。そのための確認という実験であり、本格運行に対しては曜日を増やしたほうがいいかどうか、台数はどうかについては改めて協議する。今回は実験としてこの半年間の条件は変えないという理解でよいか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そうである。</li> </ul>
鈴木委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのときの事業規模の確認だが、1日当たりの利用者数15人は厳しいかもしれないが、1回当たり1人400円いただくと1日6000円になるのか。往復使うと1万2000円になるのか。乗合率1.5～2.0というのはパーセントか。15人に対して2人ぐらいまでは利用者が乗合で乗られるということか。そうすると月当たり30万～60万の運賃収入を見込まれているのか。</li> <li>・運行するに当たり、運賃収入の見込みと、今回の予算、事業規模感がどれぐらいか確認したい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業規模感はお答えが難しいが、あくまで週2回しかない運行の中で利</li> </ul>

	<p>用者のほうでもかなり制限がかかってしまう中での実験になる。収支的にはかなり赤字の事業になると思う。その中で利用体験を通じて公共交通としての乗り替わりであるとか、マイカーからの転換が可能かどうかを皆さんにお伺いさせていただきながらやっていきたいという思いでの事業になる。</p>
鈴木委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収支的にはマイナスなのはもちろん理解しているが、それでずっといいかということでもない。そもそもの公共交通活性化というところで1億近くマイナス予算を組まざるを得ないところが問題という課題感を持って取り組んでいる中で、それを少しでも改善していくというところの意識はあってほしい。公共交通としての意味合いとして総トータルで赤字になるのは理解するが、赤字予算が拡大することは厳しいと思う。少しでも効率がよくなったとか、赤字が変わらないとしても利用者の満足度が上がるとか、何かしら現状よりもよくなるためにやる施策だと思う。アンケートもそうだが、事業規模の視点でもシビアに意識していただきたい。見込みがしにくいとか測れないというのはわかっていることなので、確度の高い数字を出せということではなく、関わっている以上は感覚としてはその辺の規模感には常に見ていないといけない。その辺が民間と公との差を感じる。コストは意識していただきたい。</li> <li>・実証実験は半年で、その後は1回やめるのか。その後、本格運行にいつ切り替わるかというのは今のところ決まっていないのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本格運行の時期については、決まっていない。</li> </ul>
鈴木委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのことを説明会の際に伝えないと住民は混乱する。周知徹底してほしい。</li> <li>・乗合割りを考えていただいて、乗合の利用導入を実験でもすることなので、乗り合わせをするとお得ということであるが、近所で乗り合わせても目的地が違えば割引対象にならないというのはトラブルのもとになりそうである。乗るときに一緒にあればいいという誤解を生みそうである。説明会のときに目的地も同じでないと割引がきかないことは周知いただきたい。みんなで買い物に行こうとか、お出かけしましょうというところのイメージしやすいモデルを提示いただくとよいのではないかと。説明会で周知いただきたい。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・費用のことを意識しなければいけないというご意見である。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・費用についても意識は持たないといけない部分であるが、どうしても利用料金とのバランスもあり、一定額を超えると利用者から利用料金が高いというご意見をたくさんいただくことがあり、悩ましいところである。コスト意識も当然であるし、利用者の利便性、満足度というところで、バスよりもというか、普段の移動が楽になったという感想をたくさんいただけるような形での運行スタイルに少しでも見直しができるという意識で取り組みたい。</li> <li>・同乗者割引についてもご理解いただけるよう適切な説明をさせていただきたい。</li> <li>・実証期間についても皆さんに伝わるような説明で進めていきたい。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鈴木委員からのご指摘を含めて、ここまでの議論の中でいろいろな意見をいただいているが、P.8の実証実験中の検証内容について、この表に不足している部分が結構あると感じた。今回何のための実証かということ、本格運行することを判断するための実証である。本格運行時にどうい</li> </ul>

	<p>運行にするかということに直結するような評価指標も必要である。運行コンテンツを、何をどう変えるか。運行の曜日や時間、料金、目的地、こういったものが実証実験で利用した方々にとって利用しやすいものだったかどうかをきちんと確認しなければいけない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予約不成立に関しては、アイシンさんが集計するデータでわかるとは言いつつも、利用者にアンケートの中で予約不成立を経験したか、どう思ったかとか。別の地域でやっているチョイソコの評価を私はやったことがあるが、帰りの予約が全く取れないという不満がたくさん出ていた。そのあたりの利用者の不満もきちんと押さえた上で本格運行に向けた運行内容をきちんと組んでいけるような評価をしていく必要があると思う。</li> <li>・もう1つ、費用の話に関しては、経費がどれぐらいかかったかということも評価指標として押さえていくということと、チョイソコを導入することの意味は協賛金という仕組みを取り入れているというビジネスモデルである。これを売りにして、全国的に都市交通の研究者の中でも話題になったものである。協賛金の可能性というところ、関心度や意向だけでなく、協賛金も含めてどれぐらいの市の負担でやっていけるのかということの評価指標として出していくということ、ざくっとした数字でもいいので考えていくということはこの表の中に入れ込んだほうがよいと思う。この辺のことを追加していきたい。</li> </ul>
伊藤委員 (民生・児童委員 協議会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検証の話で、集計するという話だが、利用者の集計ということで、利用者がこの時間にここに行きたいと電話で申し込むと、アイシンさんからあなたはこの時間に迎えに行くということになるが、その時間差が出てくると思う。本人が申し込みたい時間と実際に迎えに来る時間、それは調整された時間だと思うが、その辺の差のデータというのはすべて残ると考えてよいのか。</li> </ul>
大屋氏 (アイシン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのとおりである。</li> </ul>
伊藤委員 (民生・児童委員 協議会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それならよい。今言われたようなデータは最後に評価できると思う。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よろしいだろうか。これは6月からスタートするというので、評価の話も含めて少し調整が出てくるところがあると思う。</li> <li>・停留所の増減も今後ある可能性があるということである。</li> <li>・このあたりは事務局に一任するというので、この運行の実証実験の実施をご審議いただきたい。実証実験の実施を承認いただける方は挙手をお願いします。</li> </ul> <p style="text-align: center;">(賛成者挙手)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全員から賛成いただいた。事務局はいただいた意見を踏まえて実証実験の準備を進めていただきたい。</li> </ul>

#### 4.議題

##### (2) コミュニティバス運賃助成定期券交付事業について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こちらは報告だが、議題(2)、コミュニティバス運賃助成定期券交付事業について、市でやられる事業を報告いただく。事務局から説明をお願いします。</li> </ul>
------	---

事務局	<p>○資料2説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバス運賃助成定期券交付事業について、資料2を基にご説明する。</li> <li>・コミュニティバスは平成22年6月21日から、通学・通勤・通院・買物など市民生活のための移動手段の確保、公共交通空白地域の解消を目的として運行しており、運行開始時より、75歳以上の方及び未就学児の運賃は無料としている。</li> <li>・また、通勤・通学など利用頻度の多い方の料金負担の軽減を図り、利用を促進するため、定期券や回数券、65歳以上の方を対象としたシルバーバスを発行している。</li> <li>・そこで新たに、きんちゃんバスを利用する市内在住の高校生に対し、バス運賃を助成することにより、公共交通の利用促進と保護者の経済的負担軽減を図ることを目的とする「コミュニティバス運賃助成定期券交付事業」を実施する。</li> <li>・当該事業は以下に示す、弥富市地域公共交通計画の「基本方針2：料金負担の軽減」に該当する事業となる。</li> <li>・1ページ目の下表に本事業の概要を示しているが、補助対象者は高等学校へきんちゃんバスを利用し通学する15歳以上18歳以下の市内に住所を有する方、運賃助成方法は指定の様式にて申請した申請者にきんちゃんバス運賃助成定期券を交付し、きんちゃんバス運賃を当該年度末まで助成、申請については交付申請書類及び高等学校への在学を証明する書類を市民協働課にて受付後、運賃助成定期券を交付する。</li> <li>・指定様式ときんちゃんバス運賃助成定期券は2ページ、3ページに示している。説明は以上である。よろしく願います。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これは運賃の改定ではない。運賃の改定となるとこの会議でご審議いただかなければならない。市内在住の高校生に対して市が助成するという施策であるため、報告案件となっている。</li> <li>・ご意見、ご質問があれば願います。</li> </ul>
伊藤委員 (弥富市区長会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請書の配布はどう考えているのか。</li> <li>・申請の受付を各支所など手軽な場所ではお願いできないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請書は市ホームページからダウンロードできる。若い方はそういう環境をお持ちだと思うので、ダウンロードして申請書を取得いただきたい。</li> <li>・支所になると時間がかかってしまう。ご足労をかけるが、市役所市民協働課に提出をお願いしたい。</li> </ul>
鈴木委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・告知はどのようにされるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周知方法であるが、今回この協議会でご理解いただいたということになれば、すぐに市ホームページに上げ、広報誌5月号に掲載する予定である。</li> </ul>
鈴木委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつものとおりのやり方であるが、それがなかなか伝わらないというのが市民の肌感覚である。対象者のいる中学3年生や学校で紹介するなり告知はあってもよいのでないか。伝える努力は、チャンネルはたくさんあってほしい。いつも広報に載せたからで終わるとするのは残念に思</li> </ul>

	<p>う。それだけではなくお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• WEBで申請から認可までできるようにし、市役所に来なくてもいいような仕組みを早く作ってほしい。そういうところがDXである。WEBからダウンロードできるというのはアナログである。申請から認可まですべてがWEBで解決するほうがありがたい。市全体で取り組んでいただきたい。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 貴重なご意見をいただいたが、事務局、よろしいか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 努力させていただく。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• こういう定期券は、特にコミュニティバスとなるとなかなか進まない。</li> <li>• 豊田市ですら今70歳以上に定額パスを販売しているが、すごく面倒くさいことをやっていて、市の交通政策課に申請を出して、申請者に対して許可証が出て、郵送されたその許可証を持ってコンビニや販売場所に行って購入しなければいけない。</li> </ul>
鈴木委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• あえて面倒くさくして制度を利用しにくくしているのか。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• そういうわけではない。</li> <li>• ほかにご意見、ご質問はいかがか。</li> </ul>
伊藤委員 (民生・児童委員協議会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ネット関係は本人確認が必要なので、しっかりしないと不正も懸念される。安易にやってはいけない。</li> </ul>
鈴木委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• もちろんそうである。</li> </ul>
伊藤委員 (民生・児童委員協議会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• システムをしっかり作らないとできないという話である。</li> </ul>
岡本委員 (愛知県運輸支局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• どの市町村でもご高齢の方や交通弱者のために無料にされているところはあと思うが、市の予算で担保するためという理由で市内在住というのはいいのだが、今回なぜ高校生に限定されたのか。そのアプローチは何か理由があるので。通常であれば小学生、中学生も対象にされる。なぜ高校生に限定されたのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 高校生に限定したことについては、駅までご家族による送迎や、自転車で通う高校生もたくさんいる。その部分を少しでも負担の軽減につながればということと、併せて利用促進につながってほしいということから、まずは高校生を手始めにさせていただいた。</li> <li>• 小中学生についても料金改定をして無料化に進めていければと検討しているところである。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 今回は高校生であるが、その先に今後小学生、中学生の運賃を変えるという施策を考えているということである。</li> <li>• ほかによろしいだろうか。</li> <li>• 伊藤委員、お子さんはまだまだ小学生には上がらないと思うが、高校生の助成事業に関して何かあればご意見をお願いしたい。</li> </ul>
伊藤委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 上の子が4月から小学生である。小学校は使う機会が少ないかもしれないが、中学生になると出てくるかと思う。高校生の毎日の送迎問題は私としてはすごく怖い。それが少しでも解決されるようにというのは、公</li> </ul>

	<p>募委員に応募したときからの思いである。今送迎されている方は本当にすごいと思って見ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生の助成定期券は、割引なのか、無料になるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無料である。</li> </ul>
伊藤委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それで利用者が増えるとよいと思う。</li> <li>・ アクティブに通っている小中学生もいる。そこを早めに対象にさせていただけるとよい。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アクティブというのは？</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不登校の子が通うところである。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の方はわかっていると思うが、そういう施設ということである。</li> <li>・ ほかによろしいだろうか。</li> </ul>
多田委員 (名古屋タクシー協会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これがいいとか悪いという話ではないが、これは地元皆さん方で考えていただければよいが、タクシー事業者の現状から申し上げると、コロナの影響で今大変厳しい経営の中にいる。しかもタクシー事業者の多くは70歳以上の高齢者1割引運賃を現実にやっている。公共の負担で利用者の利便を図ることは非常に大事で、また有意義なことだが、民間事業者の経営についてもぜひご一考いただきたい。そういう余地があるのではないか。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タクシー事業も大事な公共交通であることは計画の中でもうたっている。そのあたりも何か具体的な施策として取り組んでいけるとよい。検討をお願いします。</li> <li>・ ほかによろしいだろうか。では、次の議題に入りたい。</li> </ul>

#### 4.議題

##### (3) 令和5年度弥富市地域公共交通活性化協議会 事業計画(案)及び予算(案)について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ こちらは審議事項である。協議会の来年度の事業計画、予算案について、資料3、4の説明をお願いします。</li> </ul>
事務局 (富居)	<p>○資料3説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度弥富市地域公共交通活性化協議会事業計画(案)及び予算(案)について、資料3、4を基にご説明する。</li> <li>・ まず、資料3 事業計画(案)についてご説明する。</li> <li>・ 1. 弥富市コミュニティバス運行について。きんちゃんバス(北部、南部、東部の3ルート)の運行を継続する。なお、国の地域公共交通確保維持事業のうち、地域内フィーダー系統補助を活用し運行する予定である。</li> <li>・ 2. 運行評価について。乗車人員調査を実施し、地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価を実施する。</li> <li>・ 3. 利用促進策の展開について。毎年実施している無料お試し乗車券の配布など、令和3年3月に策定した弥富市地域公共交通計画に位置づけられた利用促進策を展開する。</li> <li>・ 具体的な利用促進策については例年と同様であるが、先ほどご説明したとおり、利用促進と子育て世代の負担軽減を図るため、令和5年4月より「コミュニティバス運賃助成定期券交付事業」を実施する。</li> <li>・ 4. 南部ルートの再編検討について。デマンド運行の社会実験を令和5</li> </ul>

	<p>年6月から11月末まで半年間実施する。また、運行実績と会員登録者へのアンケート調査や大藤・栄南学区の市民を対象としたアンケート調査等により、利用者数等の運行実績や市民のニーズを踏まえた評価を実施する。地域の企業や停留所設置施設の事業者へのアンケート調査によってチョイソコ協賛金への関心度や意向を把握し、妥当性を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会実験終了後は社会実験運行の結果・評価をもとに、デマンド運行本格導入やきんちゃんバスの運行ダイヤの再編等の具体的な南部ルートの再編案を検討する。</li> <li>・5. 地域公共交通網の再編検討。南部地域の社会実験運行の結果を踏まえ、公共交通計画の新たな策定を見据え、北部・東部地域を含めた弥富市全体の公共交通網の再編を検討する。</li> <li>・6. 令和6年度地域公共交通確保維持改善計画の策定について。令和3年3月に策定した弥富市地域公共交通計画のほか、これまでに策定してきた地域公共交通確保維持改善計画や令和4年度事業（自己）評価結果、利用実態等を踏まえ、令和6年度地域公共交通確保維持改善計画を策定する。</li> <li>・7. 地域公共交通活性化協議会の開催。予算・決算、運行の検証や弥富市地域公共交通計画の今後の見直しの方向性等の検討のため、協議会を開催する。</li> <li>・協議会の開催と作業の概ねのスケジュールなどを3ページに示している。協議会は計4回を予定しており、作業の進捗にあわせ、適宜開催する。</li> </ul> <p>○資料4 説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次に資料4、令和5年度予算（案）について説明する。</li> <li>・歳入。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1 負担金。弥富市負担金として、1億1,884万5千円。</li> <li>・4 諸収入。預金利子 1千円。</li> <li>・雑入、地域公共交通確保維持改善事業補助金事業者精算金として451万4千円。</li> <li>・諸収入 計 451万5千円。</li> </ul> </li> <li>・歳入 計 1億2,336万円。</li> <li>・歳出。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1 総務費。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1 総務管理費のうち1会議費 会議資料等として1万円。</li> <li>・事務局費 振込手数料などとして4万円。</li> <li>・1 総務管理費 計 5万円・</li> </ul> </li> <li>・2 諸費。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1 諸費 地域公共交通確保維持改善事業補助金事業者精算金・負担金精算返納金として451万4千円。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・総務費 計 456万4千円。</li> </ul>
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 事業費。</li> <li>・ 1 事業推進費。</li> <li>・ 1 事業推進費 バス運行事業・デマンド運行事業費・公共交通確保維持改善調査業務委託費として、1億1,734万5千円。</li> <li>・ 2 広報公聴費 時刻表・路線図等印刷費、啓発物品購入費として145万円。</li> <li>・ 事業費 計 1億1,879万5千円。</li> <li>・ 3 予備費 1千円。</li> <li>・ 歳出 計 1億2,336万円となる。</li> <li>・ 令和5年度弥富市地域公共交通活性化協議会 事業計画及び予算(案)については、以上となる。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協議会の事業計画案及び予算案に関して、ご意見、ご質問をお願いします。</li> </ul>
永井委員 (弥富市福寿会 連合会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来年度の事業計画ということで話があったが、デマンドの本格導入に向けて検討と書いてあるが、鈴木委員の話ではないが、いつやるのか。計画もまだ出していないが、検討してやっていくという前向きな姿勢をしっかりと出さないと、今まで事務局も含めてしっかりこの委員会をやってきたので、うまく軌道に乗ってきたという成功させるという気持ちを事前に持っていかないと、利用者が少ないからやめたとか、そういう簡単な結論で終わってしまうと何だったんだということになる。</li> <li>・ 私も今日で委員はおしまいです。とうとうやりだしたなど見せていただきたい。よろしくお願ひしたい。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来年度、実証で終わることのないように、成功するように頑張ってもらいたいという激励であった。</li> </ul>
伊藤委員 (弥富市区長会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南部ルート朝の時間短縮や路線変更といったところはスピード感を持ってやってほしいというお願ひをした覚えがある。そのあたりはどうなるか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南部ルートの再編についてはデマンドの本格導入に向けてというタイミングでの切り替えを検討して今準備を進めている。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まずはデマンドの実証を行い、それを踏まえて本格的な改変に入っていくということである。</li> <li>・ ほかにいかがだろうか。</li> <li>・ それではご審議いただきたい。令和5年度弥富市地域公共交通活性化協議会の事業計画案、予算案について、ご承認いただける方は挙手をお願いします。</li> </ul> <p style="text-align: center;">(賛成者挙手)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全員から賛成いただいた。「案」を取っていただき、この計画、予算に従って事業を進めていただきたい。</li> </ul>

#### 4.議題

##### (4) その他

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最後に議題(5) その他ということで、事務局からお願いします。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報告事項として3点ある。</li> </ul>



<p>(富居)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1つ目に、弥富市地域公共交通活性化協議会規約について、参考資料1をご覧ください。</li> <li>・弥富市地域公共交通活性化協議会への女性参画を推進するため、協議会規約を令和5年4月より改正する。</li> <li>・改正箇所は、規約5ページ目の表中、区長会長、民生・児童委員協議会会長、福寿会会長について、会長を代表に改正している。よろしく願います。</li> <li>・以上で参考資料1の説明を終わる。</li> <li>・2つ目に、利用者実態調査結果について、参考資料2をご覧ください。</li> <li>・12月31日までのデータを集計している。</li> <li>・1ページ目の年度別乗車人員の推移、乗車人員の推移をご覧ください。前年度比を見ると、令和4年度の計は前年12月までの実績に対する比率であるが、12月まではどのルートも前年度より乗車人数が多くなっていることがわかる。</li> <li>・また、2ページに示すとおり、1日あたり平均乗車人員、1便あたり平均乗車人数ともに前年度に比べて増えていることがわかる。</li> <li>・次に月別乗車人数の推移、3ページをご覧ください。</li> <li>・令和4年度は6月をピークに夏休みの影響で利用者が減少し、9月以降は、ほぼ横ばいとなっている。</li> <li>・次に4ページ、高齢者が多く、買い物利用が中心の北部ルートでは対前年度比1.08である。</li> <li>・5ページ、買い物や通勤・通学利用が多い南部ルートでは、対前年度比1.14である。</li> <li>・6ページ、高齢者が多く、公共施設利用が中心の東部ルートにおいては、対前年度比1.03となっている。</li> <li>・7ページには、南部地域社会実験運行バスの乗車人数の推移を示している。最終結果については第2回協議会で説明済みのため、今回は割愛する。</li> <li>・以上で、参考資料2の説明を終わる。</li> <li>・最後に3つ目として、令和4年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果についてご報告する。</li> <li>・参考資料3をご覧ください。</li> <li>・昨年度の事業について、中部運輸局で実施した二次評価の結果がうら面に記載されている。</li> <li>・評価できる取り組みとして、期間限定の無料お試し乗車券を配布することにより、きんちゃんバスの利用促進を行ったことを確認した。</li> <li>・またそれに伴いアンケートを取り、無料お試し乗車券の利用状況を確認していることを評価する。第二期南部地域社会実験を行うことで、既存コミュニティバスの運行の補助を行い、その必要性の確認を行っていることを評価する、とされている。</li> </ul>
-------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・また、期待する取り組みとして、これまでに行った無料お試し乗車券のアンケート結果に基づき、通常の運行の利用促進に繋げることを期待する。第一期及び第二期の実証実験の結果に基づき、コミュニティバスに必要な路線や運行方法を検討し、既存の路線に対して必要な対応を行うことを期待する、とされている。</li> <li>・今後も、この二次評価結果を踏まえつつ、取り組みを推進していきたいと考えている。協議会委員の皆さまには今後ともご協力賜りますようお願いする。</li> <li>・ご報告は以上である。よろしく願います。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他として3点の報告があった。ご意見、ご質問があれば願います。よろしいだろうか。</li> <li>・ここまでの議論をすべて含めて最後にご意見があれば願います。よろしいだろうか。</li> <li>・議題はここまでとなる。進行を事務局にお返しする。</li> </ul>
4. 閉会	
事務局 (藤井課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山崎先生ありがとうございます。</li> <li>・今回にて令和4年度最後の協議会となる。委員の皆様には、今年度計4回の協議会にご協力いただき、ありがとうございました。来年度も本協議会については継続する。引き続きよろしく願います。</li> <li>・次回の令和5年度の第1回協議会は6月22日、14:00からを予定している。改めてご案内する。よろしく願います。</li> <li>・以上をもって、令和4年度第4回弥富市地域公共交通活性化協議会を終わる。今後ともご協力賜りますようお願い申し上げます。ありがとうございました。</li> </ul>
	以上